



SSK 建材 株式会社  
代表取締役

## 佐々木 高嗣

マンションなどには欠かせないアルミ手摺りの加工を手掛けている佐々木社長。  
「高品質な製品を納めること」を第一義に掲げているという。  
そして常に意識しているのが、ユーザーの「笑顔」だ。  
「私たちが納める製品を通じて、住民の方々の快適な生活を支え、笑顔をつくりたい」。  
その揺るぎない信念で以て、スタッフと共に一丸となって歩を進めている。  
これからも多くの人の笑顔を創出し、その先の幸せにつなげていく。

**「高品質な製品を納めることで  
笑顔を創出し、幸せにつなげたい」**

# 「住む人」が納得していただける製品を納める スタッフ一丸となって高品質を追求し



マンションなどに設置される手摺りといったアルミ建材の加工を手掛ける『SSK建材』。本日は、俳優の小倉一郎氏が同社を訪れ、佐々木社長と奥様の英美さんにお話を伺った。

——早速ですが、佐々木社長のこれまでの歩みからお聞かせ下さい。  
(高) ここ栃木県で生まれ育ちました。学業修了後に就職した会社で妻と出会いまして。妻の父が経営していたのが、手摺りなどのアルミ建材の加工を手掛ける『SSK建材』だったのです。妻と結婚した後、義父の後継者としてこちらに入社しました。  
——プレッシャーもおありだったでしょう。いざ入ってみて、いかがでしたか。  
(高) 覚悟を決めて飛び込みましたよ(笑)。昔ながらの職人気質である義父は、手取り足取り教えてくれるタイプではなく、「背中を見て覚えろ」というタイプの方。そんな義父に必死に食らいつきながら、直向きに技術を磨いていきました。あの時の経験があるからこそ、今がある

と思いますね。ですから義父には感謝の気持ちでいっぱいです。  
——当時から奥様も社長とご一緒に仕事をされていますか？  
(英) そうですね。私は父の背中を見て育ち、いつしかこの仕事に興味を持つようになったんです。学業修了後、一旦は別の会社に就職しましたが、家業への想いを捨てきれずにこちらに入り、現在に至ります。  
——では事業のお話を詳しく伺っていきます。具体的にどのようなお仕事？  
(高) 当社では、主にマンションなどのベランダや廊下に設置されているアルミ手摺りの加工を手掛けています。高い技術力とこれまで培ってきたノウハウで、お客様の様々な要望をかたちにさせていただきます。



小倉 一郎 (俳優)

現在、別の仕事に就いている佐々木社長のご子息が「ゆくゆくは家業に加わる」と話してくれているのだとか。社長と奥様の英美さんの嬉しそうな顔が印象的でした。ご家族3人でお仕事ができる日が来るのが楽しみです。私も陰ながらではありますが、『SSK建材』さんの今後を応援させていただきますよ。

——御社では、女性のスタッフさんが多くいらっしゃるようですね。  
(高) ええ。繊細な作業が求められることもあり、当社では多くの女性スタッフが活躍してくれています。自ら進んで仕事を覚えようとしてくれたり、色々なことに興味を持ってくれたりしてしまってますから、とても頼もしいですよ。  
——スタッフさんには普段どのようなことをおっしゃっていますか。  
(高) 「納期を守ること」を基本として、「高品質を追求し、お客様に納得していただける製品を納めること」を常に心掛けていこうと話しています。お客様というのは、私たちが加工した手摺が設置されたマンションなどに住む方々のこと。住民の方々の快適な生活を支え、笑顔をつくれるような仕事を収め続けていきたいと考えているんです。  
——素敵なお考えですね。やり甲斐も大きいでしょう。  
(高) そうですね。私共が加工した手摺が設置されたマンションの完成写真をいただくと、それをスタッフの皆にも共有するんです。「こんなに良い建物できたのは、皆が頑張ってくれたお陰だよ」と。するとスタッフたちも喜んでくれて、やり甲斐を感じてくれているようなんです。それで高いモチベーションを維持して、「また頑張ろう」と一丸となって次の仕事に向かっていくことができると思いますね。  
——現場の士気を高めることで、さらなる品質向上にもつながるでしょうね。素晴らしい取り組みだと思いますよ！ さて、お義父様から後を受けて経営者となられて、今までを振り返ってみていかが



奥様  
佐々木 英美



代表取締役  
佐々木 高嗣

ですか。  
(高) 従業員の頑張りもあり、お陰様でここまで堅調な歩みを進められていると感じています。お取引して下さる方からは「『SSK建材』さんに任せておけば安心」とおっしゃっていただいているんですよ。ありがたいことに、2年先、3年先の受注もいただいています。建築業界は来年の東京オリンピックに向けた特需に沸く一方で、オリンピック後の需要の落ち込みが懸念されています。そんな中でも、当社を選んでお仕事を下さることに感謝しかありません。  
——それはすごい！ 厚い信頼を獲得されていることが窺えます。今後がますます楽しみです。どんな展望を描いておられますか。  
(英) この仕事は何よりの生き甲斐なんです。これからも、夫をサポートしながら、スタッフと共に質の高い製品づくりに邁進していきたいですね。  
(高) これからも「お客様が納得して下さる高品質な製品」を追求し続けると共に、強固な経営基盤を構築していきたいですね。そして、次代を担う人材の育成に注力していきたいと考えています。現在、建築業界では人材不足が叫ばれ、若手の人材がなかなか育ちにくいと言われています。私がこれまで培ってきた技術やノウハウ、この仕事の楽しさややり甲斐を若い世代にしっかり伝えていきたいですね。  
——ぜひ頑張ってください！  
(2019年6月取材)

## チームワークと向上心が成長の原動力

▼「皆で良い製品を作っていこう」という雰囲気が当社にはあるんです。私と妻も含めて、スタッフの団結力が私共の強みと言えますね」と語るのは佐々木社長。スタッフ一人ひとりが高いモチベーションを維持し、一丸となって仕事に取り組む姿勢が高品質な製品を生み、それが顧客の厚い信頼を獲得し、『SSK建材』が多くの実績を重ねている所以になっているのだ。一方で社長の奥様である英美さんも、「当社のスタッフは与えられた仕事だけに取り組むだけでなく、一つでも多くのスキルを身につけようとしてくれるなど、とても意欲的なんです」と語る。現状に満足せず、常に向上心を持って取り組む——この姿勢は、同社の成長の大きな原動力になっているに違いない。「人口減少社会で建築業界を取り巻く環境は厳しくなる中でも、こうしてお仕事をいただいていることに



感謝しなければなりません。この想いはスタッフの皆とも共有しています」と語る社長。そんな社長は今後、強固な経営基盤の構築を目指している。同時に、より一層人材育成に力を入れていく構えだ。次代にバトンタッチする日まで、さらなる高みを目指して走り続ける。